

SHINKIN REPORT 2019

平成31年4月1日
▼
令和1年9月30日

松本信用金庫 令和1年度(第99期)上半期ディスクロージャー



地域とともに、
人々と明日を目指します。

松本信用金庫キャラクター「ジョン君」

 松本信用金庫

松本信用金庫SDGs宣言

当金庫は「地域社会の要請に応え、地域金融機関としての使命と責任を自覚し、常に地元とともに栄え、豊かな明るい街づくりに奉仕する」を基本理念として事業展開しております。この理念は、2015年9月、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)に通じることから、SDGsを重要な目標と捉え、金融サービスを通じ、地域社会、環境、経済などの側面から、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



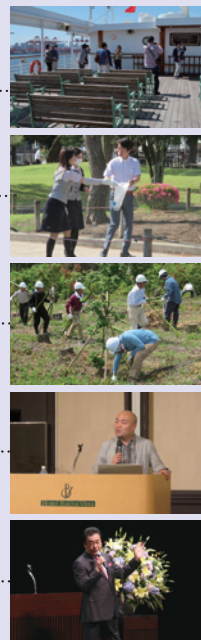
4月 ■ 交通安全「黄色いハンカチ」を新入学児童へ進呈

5月 ■ 信寿会ふれあい親睦の旅
「～東京タワーとシンフォニー東京湾ランチクルーズで優雅なひととき～」

6月 ■ 懸賞付定期預金「ジャンボ24th」発売開始
■ 「信用金庫の日」献血・清掃・募金活動
■ 「森林(もり)の里親促進事業(しんさんの森林)」もみじの苗木の整備
■ しんさん同友会春季講演会
講師：原田曜平氏
演題：「消費者として、労働者として若者をどうつかむか？」
■ 「ママフェスまつもと2019」開催

7月 ■ 「松本しんさんビジネスクラブ」発足
■ 「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト企業連携事業
講師：高橋英樹氏
演題：「桃太郎の人生数え唄」
■ 松本信用金庫SDGs【持続可能な開発目標】宣言

8月 ■ 「第3回しんさん&テレビ松本優勝旗争奪ミニバスケットボール大会」開催
■ 「松本ぼんぼん」等夏祭りに各店が参加
■ 松本信用金庫×PARCO連携事業に協賛・参加



当金庫の概要 (令和1年9月30日現在)

本店所在地	〒390-0873 長野県松本市丸の内1番1号 TEL 0263-35-0001	預貸出資	金 4,156億円 金 1,894億円 金 10億円	常勤役職員数	330人
設 立	大正11年2月	店 舗 数	28店舗		

T O P I C S

SDGsへの取組み《松本信用金庫の取組み事例》

「地方創生プロジェクト『歩み』」の活動強化
(当金庫独自の経営課題解決支援の取組み)
平成28年4月から活動を開始し、中信地区の事業所への訪問活動を通じて、経営上の課題を聞き取り、課題解決のお手伝いをさせていただき取組みです。

お手伝い事例「事業承継・M&A」



長野県が推進する「森林(もり)の里親促進事業」により平成25年10月、松本市岡田財産区と「森林(もり)の里親契約」を締結し、人が集う豊かな森林づくりを開始しました。毎年「紅葉」を植樹し、現在500本の森林となっております。



ペーパーレス会議システムを導入し、紙の使用量削減に取り組んでおります。また、「ノーマイカー通勤デー」「クールビズ」などを実施しております。



「女性活躍推進プロジェクト」

女性職員の働く環境の改善と顧客満足の向上を目的としたプロジェクトで、平成28年8月に設立しました。

「地域の魅力発信」・「子育て世代への支援」を目的に〈松本信用金庫×PARCO〉連携事業「松本パル校祭」子育て応援イベント「ママフェスまつもと」に連携・協賛し、参加しております。



「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト

地域に暮らす人たちが、健康で健全な経済活動を行うことが、地域経済の維持・発展に不可欠であることから、松本市と「健康寿命延伸都市松本」企業連携協定を締結し、健康寿命延伸に向けた活動を実施しております。



① 経済



② 環境

③ 社会

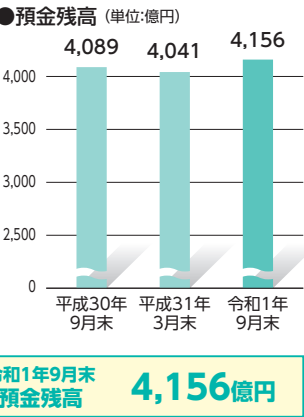
令和1年度上半期の業績ハイライト

平素は、松本信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
このたび、当金庫の令和1年度上半期(平成31年4月1日から令和1年9月30日)の業績をまとめました「令和1年度(第99期)上半期ディスフロージャー」を作成いたしました。ご覧のうえ、当金庫の経営につきまして、より一層のご理解をいただければ幸いです。

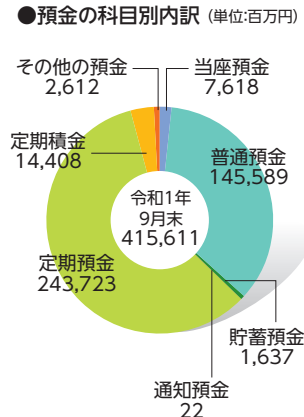
※本資料の記載金額・比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
※記載事項については、監査法人の監査は受けておりません。

預金・貸出金の状況はどうでしたか？

地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、目的や期間に応じた各種商品をご用意しております。また、きめ細やかな営業活動により取引基盤の拡大に努めております。



地域の皆さまの温かいご支援により、法人・個人ともに堅調に推移し、平成31年3月末比114億円の増加となり、総預金残高は4、156億円となりました。

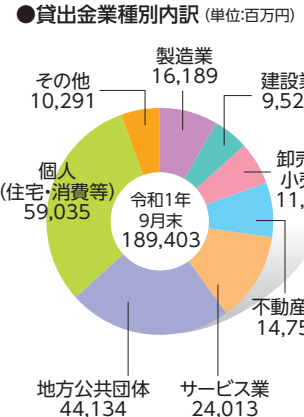


A

地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、お客さまの様々な資金ニーズに応え、事業資金や住宅・教育資金などにご利用いただいております。地域経済の発展と地域社会の活性化のため、円滑な資金提供を行うよう心掛けております。

貸出金

貸出金は、製造業、建設業、卸売・小売業、サービス業が増加し、地方公共団体が減少した結果、総貸出金残高は31年3月末比で15億円増加の1、894億円となりました。



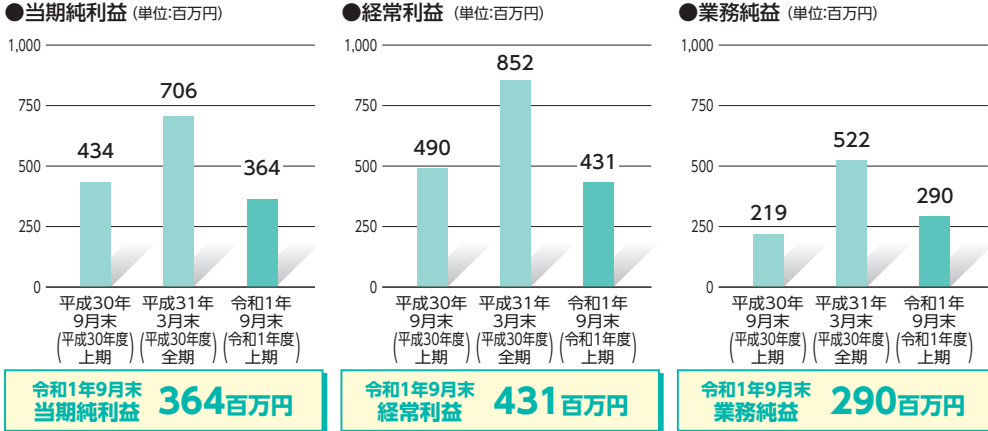
収益の状況はどうでしたか？

収益は、業務純益290百万円、経常利益431百万円、当期純利益364百万円となりました。引き続き、安定的な収益と経営基盤の強化に向け取り組んでまいります。

※業務純益……業務粗利益から業務遂行に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。

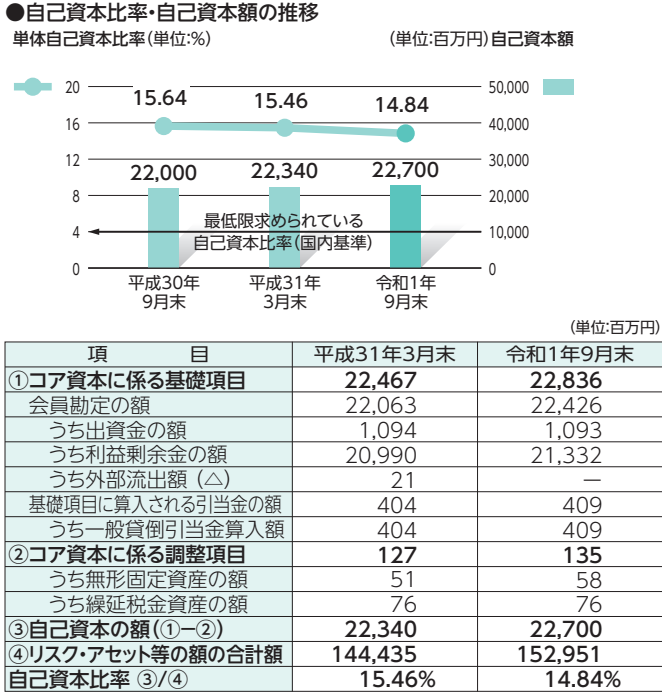
※経常利益……業務純益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示しています。

※当期純利益……経常利益に、特別損益を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。



自己資本比率はどうでしたか？

自己資本比率とは、リスクのある資産(リスク・アセット)に対して自己資本がどれくらいあるかを示す重要な指標です。
令和1年9月末の自己資本比率は14.84%と国内基準(4%以上)を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。
今後とも、皆さまに安心していただけるよう、自己資本比率の向上に努めてまいります。

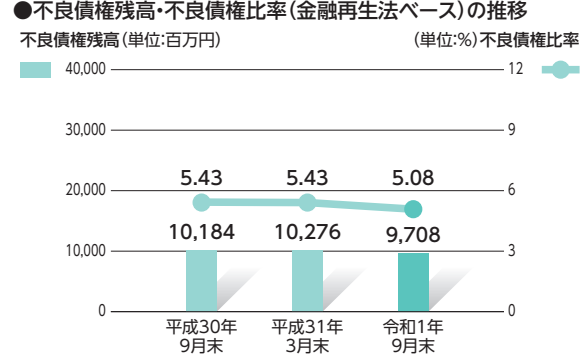


不良債権の状況はどうでしたか？

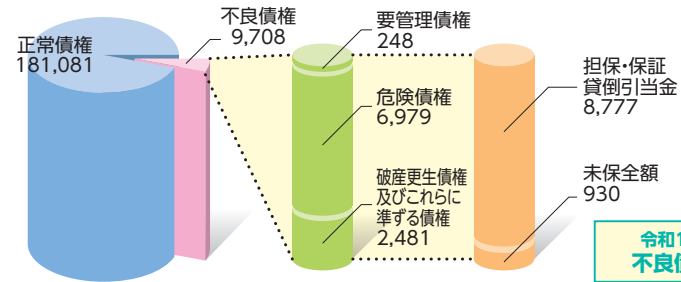
金融再生法に基づく不良債権の状況

当金庫では、保有する資産(貸出金など)について、「金融検査マニュアル」に基づいた厳格な自己査定を実施し、その結果に基づいて償却・引当を行い、より健全な資産状況を目指しております。開示金額につきましては、令和1年9月末時点で自己査定を行い、それをもとに債権額を各開示区分へ反映させております。

※不良債権比率Ⅱ(金融再生法上の不良債権÷金融再生法上の開示債権)×100



金融再生法開示債権保全状況



有価証券の状況はどうでしたか？

有価証券の状況

地域の皆さまからお預かりしたご預金はご融資のほか、安全性や収益性に留意して有価証券で有効に運用しております。

●有価証券の状況 (単位:百万円)

		平成31年3月末			令和1年9月末		
その他有価証券	簿価	4,219	3,742	△476	4,753	4,261	△491
	時価	122,059	125,124	3,065	124,012	127,118	3,106
満期保有目的有価証券	差額	157,193	159,180	1,986	162,666	165,356	2,690
	簿価	199	205	5	499	503	3
株式	時価	299	294	△4	299	296	△3
	差額	499	500	0	799	800	0

有価証券種類残高 (単位:百万円)

